

第4学年1組 学級活動(1) 学習指導案

北九州市立小石小学校

1 議題 もっと仲良くなろう！スポーツ集会をしよう。

2 議題について

(1) 児童・生徒の実態

本学級の児童(男子17人・女子14人)は、明るく元気で、思いやりがある。年度当初に、学級で話し合い、「思いやりを持って行動し、メリハリをつけ、どんなことにも一生懸命に取り組む4年1組」という学級目標を設定した。これまでの学級会では、「クラスのキャラクターを決めよう」や「持ち物のルールを作ろう」などの話し合いを行っている。過去の話し合いでは、これまでの経験から、それぞれの役割を理解し、積極的に自分の役割を遂行する姿勢が見られた。また、理由をつけて意見を言うこともできている。しかし、たくさんの意見が出たときには、その意見をまとめたり、決定していったり教師の支援が必要な場面が多くあった。また、時間内に話し合いを終わらせることができず終わることもあった。ある程度意見が出そろったところで、次の話し合いに進むように、折り合いを付けながら話し合いをするように声掛けを行っている。

(2) 議題選定の理由

本議題は、小石スポーツフェスタを終えた後、「クラスみんなでスポーツ大会がしたい。」という子ども達の意見を基に考えられた。そこから、クラスの友達との仲をさらに深めたいという意見が多数出た。また、お世話になっている先生たちと交流がしたいという意見も出た。普段お世話になっているが、あまり関わりをもてていない先生と交流をしようということで、本議題が選定された。日頃の集会については、自分たちが楽しくできる遊びを考えることができている。今回は、さらに、仲が深まるためのプレゼントについて考えることで、相手意識を高め、集会を計画できると考えた。

3 目標

知識及び技能	○ みんなで楽しい学級生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができる。
思考力、判断力、表現力等	○ 楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。
学びに向かう力、人間性等	○ 楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったりふり返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとしている。

4 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○ 提案理由に沿った内容や意見を考えたり発表したりすることができる。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○ 先生や友達との仲がさらに深まる方法について、自分と友達の意見を比べながら考えたり、発表したりする。 ○ めあてに沿って、考えをまとめている。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○ 自分の役割に責任をもって取り組もうとしている。

5 事前の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
10月26日	1 計画委員会で議題を選定し、全員に諮り、議題を決定する。	○ 次の学級会の議題を意識することができるように、学級活動コーナーに掲示する。	【態】よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を考えたり選んだりしようとしている。（行動観察）
10月27日	2 提案理由を基に柱、話し合いのめあてを決める。	○ 提案者の思いが実現するように、計画委員と話し合い、決定する。 ○ これまでの話し合いを基に、めあてを設定する。	【態】提案者の思いを意識しながら、柱の内容を決めようとしている。（発言・行動観察）
10月28日	3 議題、提案理由、めあて、柱を確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。	○ 意見や理由が書けない児童については、個別に声をかけて一緒に考える。自分の意見をもって話し合いに参加できるようにする。	【態】自分たちも、招待する先生も楽しめる内容を考えながら意見を書いている。（個人ノート）
10月31日	4 話し合いの準備や練習をする。	○ 話し合いをスムーズに進めることができるように、司会進行やノート記録の仕方などについて確認する。 ○ フロアの児童が意見を述べやすいように、全員の学級会ノートに目を通していき、必要に応じて意見の仲間分けをしておく。	【思】計画委員会の役割を理解し、進んで取り組もうとしている。（行動観察）
11月1日	5 学級会のリハーサルを行う。	○ 話し合いがスムーズにできるように、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方を指導する。	【思】自己の役割を理解し、積極的に取り組もうとしている。

6 本時の学習

(1) 日時 令和4年11月2日(水) 5校時 於 4年1組教室

(2) 主眼

「仲を深めよう!スポーツ集会」の話合いにおいて、めあてを意識した意見のやり取りを通し、自他の意見を比べながら、自分の考えをまとめたり、友達の考えの良さを見つけたりできる。

(3) 見方・考え方を働かせている児童・生徒の姿

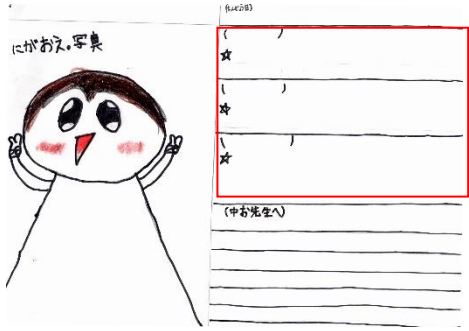
自分と周りの人が協力し、楽しめる活動を考えながら、意見を発表する姿。

(4) 準備

教師：黒板掲示用プレート(議題・提案理由・柱1・柱2など)

児童・生徒：個人ノート(全員)、話し合いの進め方シート・学級会グッズ(計画委員)

(5) 展開

第8回学級会 活動計画	
議題	中尾先生と仲を深めよう!スポーツ集会をしよう
役割	司 会 () () 黒板記録 () () ノート記録・タイマー () () 提案者 ()
提案理由	私たちのために仕事をしてくれているけど、関わる機会がないので、もっと仲良くなりたいと思ったから。
めあて	自分の意見を発表して、自分の考えと友達の考えを比べ合おう。
決まっていること	日にち：11月下旬 場所：小石小学校 ゲーム：ドッチボール・けいどろ 自分たちのことをもっと知ってもらえるプレゼントを作る。
学習活動	○ 指導上の留意点 【観点】 評価規準(評価方法)
1 はじめの言葉	○ 議題、提案理由、めあてなどは、事前に模造紙や短冊に書き、黒板に掲示しておく。
2 議題と提案理由の確認をする。	○ 提案者の思いや願いを共有し、学級全体で会を作り上げるという意識を持たせるようにする。
3 めあての確認をする。	○ めあてに沿って話し合いができるように、全員で読んで意識できるようにする。
4 決まっていることの確認をする。	○ 決まっていることやキーワードを確認できるようにする。
<p>① プロフィール帳の内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊び ・好きなこと ・好きな食べ物 ・好きな教科 ・とくぎ <p>この中から3つを選ぶ</p> <p>② 表紙を4つから選ぶ</p>	
	

<p>5 話し合い 柱1 プロフィールを書く内容を考えよう。</p> <p>柱2 プロフィールを作るために、どんな役割が必要か考えよう。</p> <p>6 決まったことの確認をする。</p> <p>7 振り返りをする。</p> <p>8 先生の話</p> <p>9 終わりの言葉</p>	<p>○ 意見が出ないときは、小グループでの話し合いを取り入れる。 【思】仲が深まるようなプレゼントについて、友達との意見を比べあいながら考えたり、良さを見つけようとしていたりする。</p> <p>○ 話し合いのめあてや、自分で考えためあてに沿って記入させる。</p> <p>○ 本時の話し合いでよかったところを評価し、今後の活動も協力して行おうという意識を持たせる。</p>
---	--

(6) A評価とB評価の様相

区 分	様 相
A評価 (十分満足できる状況)	自分も友達も先生も仲が深まる活動を考え、自分の意見や友達の意見を比べながら、より良い意見にまとめることができる。
B評価 (おおむね満足できる状況)	教師の支援を受けて、提案理由に沿う考えを表現できている。

7 事後の活動

日時	学習活動	○ 主な指導上の留意点	【観点】評価規準(評価方法)
11月7日 ～	1 集会に向けて役割分担を行い、準備をする。	○ 計画に沿って協力して活動できるようにする。	【思】合意形成したことを基に、友達と協力して活動に取り組んでいる。(行動観察)
11月下旬	2 「仲良しスポーツ集会」をする。	○ 友達や先生のことを考えて、みんなの中が深まったと実感できるように声掛けを行う。	【思】集会の目的を意識しながら取り組んでいる。(行動観察)
11月下旬	3 振り返りをする。	○ 振り返りカードに記入させる。 ○ 友達と協力したことや、話し合いを通して充実した集会になったことを認め、称賛する。	【態】集会を振り返り、自分や友達の頑張りを認めたり伝えたりしている。(個人ノート観察、発言)